

長津田小大山詣りへ！

12月も下旬となり、今年もあと何日と押しつまって参りましたが、そんな慌ただしさを感じさせる中、横浜市立長津田小学校の6年生4クラス137人の皆さんが、総合学習の一環として大山詣りを体験するために来訪されました。

横浜市緑区の長津田地区は、元々大山街道の宿場町として発展してきた歴史もあり、大山との結びつきが強く、今でも夏山には欠かさずお詣りに来られる「長津田大山講」が現存されています。

こうした地域の歴史文化を体験しようと、長津田小では毎年この時期に大山を訪れています。



大山ケーブル駅バス停で降り立った一行は、出迎えた先導師の佐藤大住さんから教わった「散華、散華、六根清浄」と掛け念仏を唱えながら隊列を整え、長さ約40cmのレプリカの納め太刀を担いで、元気一杯でコマ参道から阿夫利神社下社を目指します。



江戸時代の大山詣りは、男坂の急な石段をあえぎながら登ってようやくたどり着きましたが、現在はケーブルカーで標高差 300mを僅か6分で到着です。

早速拝殿に登壇して目黒権禰宜より、大山の解説を聞きました。特に驚いたのは明治時代に奉納された、長さ 3m重さ 2kgのこの本物の納め太刀です。さらにもっと大きく長さが 7mを超えるものの残されています。



阿夫利神社下社での体験学習を終え、今日のもう一つの体験学習、むしろメインイベントである宿坊での豆腐料理の昼食へ向かいます。

この日は天候に恵まれて相模湾に陽光が煌めき、ミシュランガイド2つ星の眺望が楽しめました。



4クラスがそれぞれ宿坊に分かれて、待ちに待った豆腐料理による昼食です。

お料理は宿坊によって微妙に異なりますが、豆腐ハンバーグをメインに四品も付く豪華版で、どのクラスでもご飯のお代わりの嵐です。用意されたお櫃はあらかじめ空っぽになりました。



自分たちの故郷に伝わる、歴史文化である「大山詣り」を体験された長津田小学校の六年生の皆さんは、お世話になった先導師さんにお礼の挨拶を済ませます。

最後に良弁滝を見学して、バスに分乗して帰路につきました。

※こうした体験型の総合学習が、他の大山街道沿いの地域にも拡がることを期待します。